

1 区分目標及び各事業のK P I の推移（対基準値）

・重複 5 事業を含まない全71事業、93項目のうち、対基準値では、良化が56項目、悪化が26項目、横這が 5 項目、実績なしが 6 項目であった。

	区分目標数	推移（対基準値）				事業数	重複していない事業数、 項目数	推移（対基準値）			
		良化	悪化	横這	実績なし、 新規、集計 中			良化	悪化	横這	実績なし
基本目標 1	4 項目 4 指標	2	2	0	0	13事業	11事業 12項目	8	4	0	0
基本目標 2	4 項目 4 指標	2	2	0	0	25事業	23事業 29項目	14	11	3	1
基本目標 3	5 項目 5 指標	3	2	0	0	15事業	14事業 25項目	18	5	1	1
基本目標 4	4 項目 5 指標	2	2	1	0	23事業	23事業 27項目	16	6	1	4
合計（R 7 実績）	17項目 18指標	9	8	1	0	76事業	71事業 93項目	56	26	5	6

※同一基本目標内で重複する事業項目は含まない。

2 区分目標及び各事業のK P I の推移（対KPI）

・重複 5 事業を含まない全71事業、93項目のうち、対KPIでは、達成が37項目、未達成が51項目、実績なしが 5 項目であった。

	区分目標数	推移（対基準値）				事業数	重複していない事業数、 項目数	推移（対基準値）			
		達成	未達成	横這	実績なし、 新規、集計 中			達成	未達成	横這	実績なし
基本目標 1	4 項目 4 指標	2	2	0	0	13事業	11事業 12項目	5	7	0	0
基本目標 2	4 項目 4 指標	1	3	0	0	25事業	23事業 29項目	8	20	0	1
基本目標 3	5 項目 5 指標	2	3	0	0	15事業	14事業 25項目	9	15	0	1
基本目標 4	4 項目 5 指標	2	2	1	0	23事業	23事業 27項目	15	9	0	3
合計（KPI）	17項目 18指標	7	10	1	0	76事業	71事業 93項目	37	51	0	5

※同一基本目標内で重複する事業項目は含まない。

3 基本目標ごとの取組における評価

(1)力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する
令和 6 年度経済センサスの結果では、市内における事業所数や従業者数が減少したが、リノベーションの取組や沼津しごと応援サイトの事業において従業者数が増加し、起業創業支援事業により新規に創業者数が増加するなど、雇用や事業の創出に一定の成果が見られた。
(2)沼津への新しいひとの流れをつくる
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、基準値に対して多くの事業で悪化していた数値に回復傾向が見られたが、生活等様式の変化によりコロナ禍前以前まで回復していないものもある。しかしながら、移住者数は目標値を大きく上回り、社会移動数は 4 年連続で転入超過を達成するなど、新しいひとの流れが形成されつつある。
(3)若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
子ども・子育て支援の充実により、子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合は年々高くなっているものの、出生数や子育て世帯数は依然として減少傾向にあるため、出産しやすい環境づくりと子育て支援策の内外へのプロモーションが重要であると考えられる。
(4)新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる
「津波避難路の点検及び再整備の割合」や「地域別災害避難行動作成率」が100%に達するなど、災害に強い安全・安心な生活環境が形成されている。また、「市内刑法犯認知件数」も基準値から減少している。今後も多方面に安全・安心な地域をつくる必要がある。